

平成17年度第10回定例会  
町田市教育委員会会議録

1、開催日	平成18年（2006年）1月6日	
2、開催場所	第三、第四会議室	
3、出席委員	委員長	富川 快雄
	委員	名取 紀美江
	委員	井関 孝善
	委員	岡田 英子
	教育長	山田 雄三
4、署名委員	委員長	
	委員	
5、出席事務局職員	学校教育部長	安藤 源照
	生涯学習部長	五十嵐 隆
	学校教育部参事（兼）	畑 久男
	教育総務課長	
	教育総務課管理主幹	飯島 博昭
	施設課長	井上 正一
	施設課主幹	金子 敬
	施設課主幹	河原 昭夫
	学務課長	牧田 惠次
	指導課長	梅原 哲
	指導課教育センター担当課長	田原 克人
	指導課副参事	坂本 修一
	指導主事	澤井 陽介
	社会教育課長	天野 三男
	社会教育課市民大学担当課長	砂田 勉
	社会教育課副参事（管理主幹）	細野 信男
	スポーツ課長	荒木 純生

図書館長	手嶋孝典
図書館副館長兼図書館副参事	守谷信二
博物館副館長	畠山豊
公民館長	阿部君子
ひなた村所長	岡本春夫
大地沢青少年センター所長	深澤泉
国際版画美術館副館長	園部芳徳
国際版画美術館主幹	河野實
書記	砂川聡
書記	堀場典子
速記士	波多野夏香（澤速記事務所）

## 6、提出議案及び結果

議案第58号 職員の服務違反に対する処分について 原案可決

7、傍聴者数 1名

## 8、議事の概要

午前10時3分開会

委員長 ただいまより第10回定例教育委員会を開会いたします。

本日の署名委員は名取紀美江委員です。

日程の一部変更をお願いします。日程第2、議案審議事項、議案第58号につきまして、報告事項終了後、一たん休憩に入り、非公開で審議をしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

委員長 では、その際には、関係者だけお残りいただきたいと思います。

それでは、日程第1、月間活動報告に入ります。

教育長から説明をお願いします。

教育長 それでは、12月2日、定例教育委員会以降の主な活動状況についてご報告いたします。

12月につきましては、12月の定例市議会が開かれました。その関係については、文教生活常任委員会の関係は両部長の方からお話をさせていただきますが、本会議については、一般質問等々省略をさせていただきます。

まず2日ですが、南成瀬小学校で町田市研究推進校の発表会がございました。各委員さん、全員ご出席をいただいておりますので、感想等ございましたら、後ほどお願いしたいと思います。

4日、町田市子どもマラソン大会が野津田陸上競技場の周回コースで行われました。これもたしか2000名を超す子どもたちに参加をいただきまして、寒い日だったんですが、行われたところです。

15日ですが、FC町田ゼルビア表敬訪問とございますが、サッカーの町田ゼルビアチームが関東社会人第2部に昇格をするというふうなことで、市長にあいさつに見えました。関東2部に昇格をいたしますので、いわゆる関東2部が13チームぐらいあるんでしょうか、その次が関東1部というふうに行くわけですが、ホーム・アンド・アウェー方式ということで、向こうのグラウンドと町田のグラウンドということですので、野津田の陸上競技場を使う回数がふえるのかなと思いますが、表敬訪問がございました。

同日、定例校長会がございました。

17日に桜美林大学の講演会でございますが、桜美林大学で特別講演がございまして、町田市の学校の方にもお招きをいただきましたが、12月17日ということで、なかなか学校関係者は少なかったわけですが、事務局の方でも何名か出席をいたしました。講師は、日本国ユネスコ代表部特命全権大使の佐藤禎一先生ということで、元文部科学省事務次官をやられた方です。「ユネスコと日本 - 国際機関の将来 - 」というふうな講演名でお話があったところです。

次に、18日に幼児画展表彰式、これは町田ロータリークラブが主催をしているもので、ことし9回目ですが、市内の幼稚園、保育園等々から作品を募ってということで、市長賞あるいは教育委員会賞等々がございまして、版画美術館の講堂で表彰式を行ったところです。

同日、町田市芸術協会発表とありますが、市民ホールで、バレエ「くるみ割り人形」がございまして、あわせて、東京都の文化功労賞に谷口登美子さん、町田のバレエの方が長年の文化功労を認められて受賞されましたので、それのお祝いを兼ねてございました。

20日に、全国私立高校バレーボール大会、これは大会そのものは21日から23日まで総合

体育館をメイン会場に、市内外七、八カ所の会場で行われました。ことしは第10回大会ということで行われまして、開会式あるいは決勝等々、総合体育館で行われました。男子については、東京学館総合技術高等学校が優勝しまして、女子は京都橘高校が優勝しました。男女80チーム参加をいたしまして、この期間中、町の中で随分高校生、バレー関係の方が見えたところでございます。

21日、町田市の中学校20校と都立高校校長の連絡会がございました。町田高校でございまして、いろいろ情報交換をしたところです。特にことしについては、都立高校生による殺傷事件という不幸な出来事がございまして、そういうふうな生徒指導のことだとか、あるいは入試の関係だとか、中高校長、いろいろ情報交換をしたところでございます。

23日、市長の出版記念パーティーということで、これも委員さんは全員ご出席になられております。

26日、トランポリンの関係、私が出席となっておりますが、隣の会場でちょっと会議があって出られなかったものですから、これは生涯学習部長の方から報告をさせていただきます。

委員長 両部長から何かありましたらお願いします。

学校教育部長 委員会の関係でありますけれども、予算と請願がございました。

予算については、アスベストの関係はどうなっているのかということ。それから、学校サポーター制度について、補正で若干増額をしましたので、その関係で現状についての質疑があったということでもあります。

それから、請願については、6月議会に出されておりました学校選択制を希望するバス通学生への「通学費補助金」対象拡大を求める請願ということで、また審議をされたということではありますが、引き続き、なお調査を要するということで継続ということになっております。

委員会関係は以上であります。

生涯学習部長 それでは、まず、定例会の中で文教生活常任委員会の報告をさせていただきます。

私どもの方の部分では、議案案件としては、補正予算、さらには体育施設条例の改正、それと指定管理者制度による指定管理者の指定が2本、これは体育施設の指定管理と自然休暇村の指定管理です。それと請願が出ておまして、請願が1本、これは、町田市陸上競技場小学生・中学生の使用料無料化と高校生の使用料減額を求める請願というのが出て

おります。そのほかに行政報告として、体育施設の予約システムの不正予約について、これは新聞報道でなされた件でございますけれども、これについて報告をさせていただいたところであります。

まず、体育施設条例から審議がされまして、体育施設条例につきましては4施設を新たな施設として加えるということでありまして、これについては、特に木曾山崎グラウンドについて、ゲートボール場は体育施設に含まれるのかとか、あと市民への説明はどうなっているのかというような質疑が主でございました。これにつきましては挙手多数で可決がされたところであります。

次に、指定管理者ですけれども、体育施設の指定管理につきましては、本会議での議論とほとんど同じでございます。それにプラス、特に公募をしたのかという部分で、室内プールのみしか公募をしていないわけですけれども、その部分についての議論がなされたというところと、もう1つは、室内プールにレストランがありますけれども、そのレストランはどうなるんだということでございます。これにつきましては、新たな指定管理者が吸収をし、その従業員の部分についても保障をしていくというようなところがあります。また、施設管理公社が今現在、施設の管理を行っているわけですけれども、そういう面では、半官半民の印象があるということで、もっと民間人を多く登用して経営能力の向上に努めてほしいというような質疑がございました。このような形で、これについても挙手多数で可決をされております。

あと自然休暇村の指定管理者制度につきましては、これは異議なく、全員一致で可決でございます。

補正予算でございますけれども、補正予算の中では、特に鶴川の図書館のところ、鶴川商店会の、団地商店会のアーケードをつくるということで、その延長が鶴川図書館にも来るとということで、その負担金の部分での質疑がありました。これについては、負担金の内容はどういうものなのかという質疑がなされて、これも採決の結果、全員一致で可決しました。

あと、請願第26号、先ほどの小中学生の使用料の無料化と高校生の減額という部分では、私どもとしてはそれなりに条例改正の部分では配慮をして、年間割引券等を利用していただくようにしているというところで、いろいろとご議論がありましたけれども、挙手少数という形で、これは私どもの意見のとおり不採択となっております。

体育施設の不正予約についての報告ですけれども、この報告につきましては、12月11日

以降の新聞報道等でもうご存じかと思しますので、割愛をさせていただきます。

あと、今、教育長の報告の中で、トランポリン全国優勝者市長表敬訪問でございますけれども、これは中田さんという方が毎年、日本の第一人者でありまして、この方がやはりまた全国大会で優勝しているというところで表敬訪問をしたところで、町田市として祝金を差し上げたところであります。

委員長 ありがとうございます。

各委員から、何かありましたらどうぞ。

岡田委員 まず、南成瀬小学校での発表会のことなんですけれども、ここでの講演会は、ゲストで来ていただいた講師の先生方がシンポジウムという形でお話をしてくださったんですけれども、教育の哲学的なところを随分お話ししていただいたように思います。参加していた、話を聞きに来た方の先生方は本当に遠くからたくさん集まっていたいて、いつもいつも町田の発表会には多くの参加者があるのですごいなと思うんですけれども、そうした先生方にとっても、たまに教育の方法論ではなくて、もうちょっと原点になるような哲学的なところをきっと考えて帰ったんだろうなと。私自身も大変おもしろかったですし、そうした先生方にとってもおもしろい講演会だったと思います。

たくさんの方が、かなり遠いところからも参加してくださっているということを見て、ふと思ったんですけれども、町田市の先生方も遠いところのそうした研修会ですか発表会に参加されているのかなと。そうしたときのサポートはどのように行われているのかなということが少し気になりまして、やはりこういうことは交流ですので、できるだけサポートしてあげて、特に町田でいい授業をしていただくために、適切なサポートがとれるような状態であるといいなと思いながら見ておりました。

それから、子どもマラソン大会の方なんですけれども、本当に寒いところを多くの子どもたちと、それから保護者の方の大変熱い応援を目の当たりにしまして、見ていて、もしかしてフェンスが崩れ落ちてくるんじゃないかというぐらい保護者の方が前の方に、子どもたちに少しでも近くなるように、しかも大きい声で応援されていたのが印象に残りました。寒い冬ですけれども、健康増進ということから考えても、また、子どもたちの我慢をするというような、そうした気持ちを育てるということでも大変意義のあることだと思いますので、ずっと続くといいな、そしてどんどん参加者がふえて盛り上がっていくといいなというふうに思います。

もう1つ、12月、大変印象に残る痛ましい事件として、小学校の子たちが殺されるとい

う事件が続いたんですけれども、それに対して町田で、本当に素早い対応として、公共の防災無線で、下校時間に、今から子どもたちが下校しますということで放送が入ったんですけれども、あれは大変よかったなと思います。こういうふうに素早く対応することで、子どもたちも本当に痛ましい事件が続くことから守られるかなと思います。今後、いろいろな形で子どもの安全を守る対策を練るよという言われてはいますが、子どもの自主性を損なわないように十分配慮していただきつつ、安全についての配慮もなされるといいなと思います。

井関委員 今お話しになった南成瀬小の算数科の少人数指導の研究発表会について報告いたします。

私は、教育学とか教育方法に関する知識というのはいないんですけれども、少人数教育の評価に対して、改めて一方的な見方をしてはいけないなということを認識させられました。それは、少人数というのはいく何を指しているかというのがはっきりしないでいろいろ結果ばかり論じているのが多かったのではないかなと思います。この研究会では、単なる習熟度別の少人数授業は、塾に行く子をふやしたり、あるいはこれでいいやという変な安心感を与えたりするという欠点があることに気づかれて、この学校独自の方法を検討しているということで発表がされました。

特徴の1つというのは、普通の少人数授業では、習熟度や児童の興味によって同質の子どもを編成するんですけれども、この場合は、異質の子どもから成る集団を編成するという特徴としていまして、前にやった関連する授業から児童の理解度とか、発表する自信など、そういうのがあるかどうかでグループを分けて、それぞれのグループを授業をする学級数に分けて、その各学級にさっきのグループを分割した児童が集まってくる。口で言うのは表現が非常に難しいんですけれども、要するに各学級にはそれぞれのグループ分けした項目から児童が集まって、同じグループからの児童ではないということです。

一方、各学級を編成するときには、例えば理解度に関する水準というのは平均すれば等しいということになっているわけです。あとは、単元の終わりごろには児童個人個人の習熟度とか興味を考慮したクラス分けも行っているということです。

もう1つの特徴というのは、考え方シートというのをを使った学び合いということで、これは機械的にクラス分けするんじゃなくて、子どもたちの人間関係を尊重するやり方で、考え方シートを書いて、見せ合って、小グループで話し合って、その結果を全体で話し合う



というような授業をとっておりました。この方法で1年間算数の授業を行って、名古屋大学の先生のご協力によって、通常の授業を行っている小学校と、それからこの南成瀬小の学力を評価している、そういう報告がされておりました。南成瀬小の年度初めと終わりでは明らかに正答率に差が出て、向上して、その向上の程度というのは、よその学校の1学年上の児童に匹敵するということがデータとして示されました。

これだけの授業をするというのには、先生方というのは授業方法の検討はもちろんですし、考え方シートの作成とか、児童の書いたものの解析、それから児童個人個人の学力の細かい評価の集積など、日常の業務というのは非常に大変なものだなと思いました。昨年、ほかにも行われた学校の研究授業でも私の頭にあった授業像とは全く違うもので、先生方の研さんというのに敬服いたしました。

当日の講師である、先ほど岡田委員からお話がありましたが、東大の先生が、21世紀はどんな授業であるべきか、どんな教師であるべきかというようなことを言われておりましたけれども、常にこのことを考えておられる先生に習える児童生徒というのは幸せだなと思いました。

もう少し政治的な発言かもしれませんが、どこかの審議会か委員会で、数字の上から、小学校と中学校の先生方の給料が高いから下げろというような意見が出て、政府も優遇策をやめるとというような報道がありましたけれども、義務教育の教員のステータスを高めるという意味からは残念なことだと思います。

名取委員 町田市子どもマラソン大会ですけれども、本当に年々保護者の方々の応援が熱くて、盛り上がってくるなという気がします。また、校長先生方の応援も子どもたちにとってはとても励みになるんじゃないでしょうか。とても寒くて、雨が降ってきちゃったんですけれども、けが人などなく無事終了したのでしょうか。その辺がちょっと心配になりました。

それから、岡田委員もおっしゃっていたんですけれども、昨年、子どもを取り巻く事件が多くて、各学校でも安全対策とか不審者対策についてすごく対応に追われたようなんですけれども、学校だよりなどを読んでみますと、PTAや地域の方々の対応がとても早くて、パトロールや安全マップづくりなどをしてくださっている様子が書かれておりました。とてもありがたいことだと思っております。この冬休み、まだ終わっておりませんが、不審者の情報などがありましたら教えていただきたいと思っております。

委員長 不審者の情報がもしあるならば、あるいは不審者関係の情報があればとい

うことと、それから、南成瀬小学校の研究発表会にかかわって、町田市の教員が町田市以外の、特に他府県等の研究発表会に参加する場合の体制はどのようになっているのかという2つの問題が今質問として出ていますけれども、指導課長。

指導課長 まず、都外の研究発表会等に教員が参加するという場合、その旅費等については東京都の旅費を使うこととなりますので、各学校で割り当てられている範囲内で一定の人数が行けるということになると思います。

今、インターネット等で発表会の情報も得られますし、また、大きなものであれば案内状が配られてきたりいたしますので、つぶさに何人行っておるといった情報は持っておりませんが、参加をしている教員は必ずおるといふふうに考えております。

また、不審者情報等についてのことでございますけれども、学校等から私どもに入りました情報については、その必要性に応じて私どもで情報をつくりまして、各学校にメールで配信をする、必要があれば、その学校がそれをリプリントして保護者に通知するという体制をただいまはっております。今後は、さらにメール等の活用ということについては考えてまいりたいというふうに考えております。

委員長 両委員、よろしいですか。

岡田委員 はい。

名取委員 はい。

スポーツ課長 子どもマラソン大会の関係ですけれども、大会中、気分が悪くなって養護室の方で休まれた方がいらっしゃいましたけれども、けが人その他、報告すべきような事故等はございませんでした。

委員長 中学校の連合陸上競技大会のときもそうだったんですが、電光掲示板はその後、どうなったんでしょうか。せっかくの大会にあれが活用されなかったのは非常に残念で、そういう声もまた聞こえたので。

スポーツ課長 当日、確かに電光掲示板を準備しておりまして、前日のリハーサルをやった時点では動いていたんですが、当日、急遽できなくなったということで非常に残念だったんですが、その後、調査等を行いまして、今、中間的な段階なんですが、原因等、把握いたしました。

主な原因ですけれども、今回、電光掲示板の卓盤の修繕等を行ったわけですけれども、それに伴いまして、掲示板とのケーブルといいますか、その部分について部品を交換しているんですが、その部品がちょっと不具合を生じたということです。不具合の正確な原因

というのは今調査中なんですけれども、他のケーブル等に交換する、もしくは温度等の条件によって多少変わるということで、いろんな条件によって機械等が作動しないといったことがあると困りますので、どういった条件でも、それからある程度素人が使うケースが多いわけですから、そういったことでも可能なような形で、今、業者の方に対応をお願いしているといった状態です。

暫定的には、大きな大会を幾つか控えております。ですから、その大きな大会につきましては修繕を行った業者に必ず来ていただいて、対応していただけるような、そういった形で準備はしております。

委員長 それから、先ほど岡田委員からお話があった、素早い対応でということことで評価する意見として、防災無線による下校の あれは期間限定でしたね。

指導課長 そうです。

委員長 逆に、これから児童が帰りますよと知らせるようなものじゃないかという意見もあるやに聞いていますけれども、そこらあたりはどうですか、特になかったですか。

指導課長 私どもにいただいている声としてはございませんでした。きのう、安全対策課との会議も持ったんですけれども、そこでも、苦情としては、夜間勤務でお昼に寝ているのにうるさいよというのがあったということぐらいで、あとはよい取り組みであるという評価を得ているというふうに聞いております。

委員長 肯定的評価が多かったと。

指導課長 多いというふうに聞いております。

委員長 ほかにございますか。 ないようですので、以上で月間活動報告を終了いたします。

日程第3、報告事項に入ります。

追加はございますか。 ないようですので、指導課から順にお願いします。

指導課長 1点目でございます。2005年度卒業式、2006年度入学式の適正な実施について、12月15日付で各学校に通知をいたしましたので、ご報告を申し上げます。

大きく基本的な姿勢については、昨年度と変更がございません。

文言の上で1点、1の重点項目がございますが、(1)に昨年度記載をしておりました、「式場での座席を指摘するなどして」という文言がありましたけれども、今年度は記載をしておりません。これは、このことは定着しておることから、別紙3の2、4枚目

の裏になりますが、提出書類の中の会場図に入れ込んでいただくというふうにしたものでございます。

同じく重点項目の(2)でございますが、昨年度、「特に、国歌については、他の式歌と同様の声量で歌うことができるよう指導する」という文言を記載しておったわけでございますけれども、本年度は特筆をすることをしておりません。このことについても、教員の指導が定着をして、昨年度の卒業式、入学式に参加した保護者あるいは来賓から立派な歌声であるというような好評を得ておるところから、一定の成果が上がったと判断をいたしましたためでございます。

その他は昨年度と同様の記述でございます。私どもの各学校の適正な実施を支援する基本的な姿勢については何ら変わるところがございません。

以上、ご報告をいたします。

2点目でございます。

これも昨年12月15日付で通知をしたものでございますが、2006年度教育課程の編成についてでございます。

この編成についてにつきましては、各校の教育課程の編成に向けて、町田市教委としての基本方針を示したものでございます。

柱は、1の「基礎・基本の確実な定着、個に応じた指導のより一層の充実を図る」ということ、2枚目になりますが、「豊かな人間性や社会性、自ら学び、自ら考える力等、生きる力をはぐくむ学習指導要領の趣旨のより一層の徹底を図る」ということ、3本目の柱といたしまして、「児童・生徒、保護者、市民の教育ニーズに応えとともに、説明責任を果たす」、この3本の柱を大きく立ててございます。

昨年10月の中央教育審議会の答申を受けまして、また、本市の来年度の事業計画を見据えまして、何点か新たな内容を盛り込んでおりますので申し上げます。

新たに盛り込みました内容の第1点目でございますが、1枚目の1の(3)に家庭教育、幼児教育との連携ということを入れさせていただいております。本市においても、幼保小連絡会を立ち上げるなどして昨年度から取り組んでおるところでございますので、各学校においても具体策を進めていきたいという趣旨でございます。

2点目は、2枚目の2の(4)でございますが、キャリア教育の視点からの内容を入れてございます。本年度、職場体験事業を実施したわけでございますけれども、それも見据えて、各校において、児童生徒に望ましい勤労感、職業感をはぐくむことができるようにキ

キャリア教育の全体計画あるいは年間指導計画、職場体験の実施計画等の充実を推進してまいりたいという趣旨でございます。

3点目でございますが、同じく2の(5)「国際社会に生きる日本人としての自覚の育成」ということを入れさせていただいております。日本の伝統文化を理解する教育、あるいは国際理解教育というものを改めて重視してまいりたい。特にALTの派遣事業、テレビを用いての会議、それから、英語活動を指導できる教員の育成研修、こういうものを考えておるわけでございますけれども、そのような事業計画を見据えた内容を記したところでございます。あわせて、今年度整備されましたパソコンのネットワークの活用も示したところでございます。

これから説明会をし、それからヒアリングをして、その後、3月の提出ということで進んでまいり内容でございます。

なお、来年度につきましても、今年度と同様に、各学校から受理をいたしました教育課程の関係資料については、森野分庁舎、教育センター、市政情報やまびこの3カ所で閲覧資料として公開してまいり、そういう予定でございます。

以上、ご報告いたします。

公民館長 「2004年度まちだの公民館」の刊行についてということですが、2004年度の公民館の事業のまとめとして、「2004年度まちだの公民館」を刊行いたしましたので報告いたします。

ひなた村所長 恒例になりましたが、第9回創作童話作品発表会を来る2月5日、午後1時半から、ひなた村カリヨンホールで行います。

内容といたしましては、入賞者の表彰、審査員の講評、市長賞作品の朗読、そして、記念公演としまして、ミュージル「ねむり姫」を公演いたします。時間の許す方、ぜひご来場いただければと存じます。

国際版画美術館主幹 現在開催されておるんですけれども、1月5日から2月19日の期間、「新収蔵作品展」を開催いたします。

今年度、2005年度に購入した作品、2004年度、そして2005年度に寄贈された作品を公開することを目的としております。

しかし、展示スペース等で全点を公開することはできませんので、特に寄贈作品につきましては250点以上にも及ぶこともありまして、その中から代表的な作品を取り上げて展示することにいたしております。展示総点数は64点ということでございます。

どうぞよろしくお願いいたしたいと思います。

国際版画美術館副館長 「町田市公立小中学校作品展」も今回で第19回目を迎えます。1月13日から1月22日におきましては「中学校美術作品展」を、それから1月27日から2月7日「小学校図画工作展」を、2月10日から2月19日におきましては「小学校書写展」を開催いたします。

それから、2月1日、午後2時から4時に、シンポジウム「子どもの育ちと造形」、講師、三ツ山一志氏をお招きして開催いたします。

次に、展覧会の報告です。

「浮世絵モダン展」につきましては、10月8日から11月23日の40日間、有料観覧者数が3434人、無料観覧者数が2193人、合計5627人の観覧者がございました。

また、「第30回全国大学版画展」におきましては2566人の入館者がございました。

委員長 以上で報告は終わりました。質問、その他ございましたらどうぞ。以上で報告事項を終了いたします。

議案第58号は、非公開で審議いたしますので、関係者はお残りください。休憩いたします。

午前10時37分休憩

---

午前10時39分再開

委員長 再開いたします。

別紙議事録参照のこと。

委員長 以上で第10回定例教育委員会を閉会いたします。

午前10時42分閉会